国土交通省
国土地理院

国土地理院広報

2026年7月発行　　第697号



「測量の日」関連行事の様子

CONTENTS

1. 第55回国土地理院報告会を開催 …… 2
2. 企画展「昭和100年 国土地理院の測量と地図」を開催 …… 3
3. 令和8年測量士・測量士補試験の合格者を発表 …… 4
4. 「測量の日」関連行事を実施
●「測量の日」における功労者感謝状贈呈式を開催 …… 5
●2026「測量の日」特別企画を開催 …… 6
●令和８年度 「測量の日」地図と測量のミニフェスタなどを開催 …… 8
●広島市の小学校で南極観測に関する出前講座を実施 …… 9
●第29回中国地区測量技術講演会を開催 …… 10
●沖縄地方でパネル展の開催と出前講座の実施 …… 11
5. 「3次元地図可視化サイト」を試験公開～国土の姿をより分かりやすく～ …… 12
6. 「自然災害伝承碑」ウェブ地図「地理院地図」での公開数 …… 13
7. 6月の報道発表・8月の主な行事予定 …… 13

第 55回 国土地理院報告会を開催

６月３日に「第 55回国土地理院報告会」を日経ホール（東京都千代田区）において開催し、６月 10 日から６月 30 日までの間、講演のオンデマンド配信を行いました。

国土地理院報告会は、測量・地図・地理空間情報について、国民の皆様に理解を深めていただくことを目的として、昭和47年（1972年）から毎年度開催しており、今回で55回目となります。報告会では、国土地理院の最新の取組を紹介するとともに、関連分野の有識者による特別講演を実施しています。

今回の報告会では、「デジタル社会を支える国土情報基盤」をテーマに、衛星測位を支えるVLBIやGEONETに関するこれまでの成果や今後の展望、3次元電子国土基本図や地理院地図の3次元化に関する現在の取組と将来の展望について報告しました。また、自然災害リスクがわかる防災地理情報、過去の地形データの作成と活用に関する研究、及び測量資格制度の検討強化についても紹介しました。

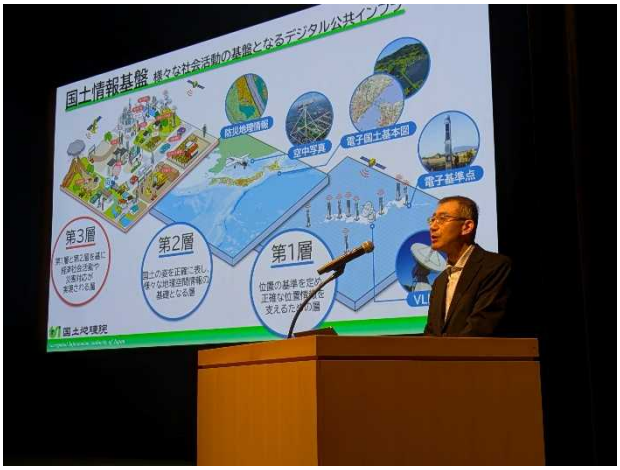
さらに、特別講演では、東京大学大学院情報学環教授の越塚 登（こしづかのぼる）氏を講師に迎え、「次世代地理空間情報を支えるデジタル情報基盤」と題して、IoTやデータスペース、スマートシティなどの事例紹介とともに、AIに関する最新動向についてご講演いただきました。

また、会場内では、国土地理院の各種取組を紹介するパネルの展示及びパンフレットの配布を行い、多くの来場者にご覧いただきました。

当日はあいにくの天候ではありましたが、民間企業、教育関係、行政関係の関係者や学生など、幅広い分野から多くの方にご参加いただけました。ここに厚く御礼申し上げます。

国土地理院職員による講演資料は、以下のホームページに掲載しておりますので、まだご覧になっていない方はぜひご確認ください。
https://www.gsi.go.jp/REPORT/HAPPYOU/2026/main55.html

なお、来年度も同時期の開催を予定しております。詳細が決まり次第、国土地理院ホームページにてお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。



河瀬（かわせ）国土地理院長による開会挨拶



越塚（こしづかのぼる） 登 氏による特別講演の様子



パネル展示の様子

（企画部）

企画展「昭和 100 年 国土地理院の測量と地図」を開催

国土地理院「地図と測量の科学館」（茨城県つくば市）では、7月14日（火）から9月23日（水）まで、企画展「昭和100年 国土地理院の測量と地図」を開催しています。

令和8年（2026年）は、昭和元年（1926年）から数えて満100年となる節目の年です。この100年、日本は戦争と復興、高度経済成長、急速な都市化やインフラ整備を経て、国土と暮らしの姿を大きく変えるとともに、地震や台風、豪雨などの自然災害にも繰り返し見舞われてきました。

国土地理院は、こうした日本の歩みの中で、国土の姿とその変化を記録し続けてきました。都市の広がりやインフラ整備、自然災害による地形の変化や被災状況などは、測量成果として残され、国土の移り変わりを伝えるとともに、現在を理解するための大切な資料となっています。

本企画展は、「昭和100年」関連施策として、昭和期の国土地理院の測量と地図作成の歩みを振り返るとともに、平成以降のデジタル・宇宙技術の進展や国土強靱化等、社会環境の変化に対応してきた国土地理院の役割と使命の変遷を紹介します。

本企画展を通じて、測量と地図の重要性への理解を深めていただくとともに、昭和を顧み、その経験や教訓を共有することで、歴史の先にある現在、そして次の時代の国土や社会づくりを考えていく機会となれば幸いです。



併せて「地図と測量の科学館」ホームページもご覧ください。

https://www.gsi.go.jp/MUSEUM/

（総務部）

【主な展示内容】

- 昭和へのバトン　明治・大正期の測量
- 戦前・復興期の地図づくり
- 高度経済成長を支えた測量
- 宇宙技術で国土を測る
- 地理空間情報の高度活用を目指して
- 御即位記念地図（大正、昭和、平成、令和）
- その他

令和8年測量士・測量士補試験の合格者を発表

5月17日に実施した令和8年測量士・測量士補試験について、測量士は7月9日、測量士補は6月25日に合格者を発表しました。

試験は全国14都道府県（15試験会場）で実施し、受験者数、合格者数及び合格者率は下表のとおりです。

	受験者数	合格者数	合格率
測量士	3,966 名	961名	24. 2%
測量士補	12,269 名	5,447 名	44. 4%

試験問題・解答例及び過去の実施結果等については、以下のページをご覧ください。
（https://www.gsi.go.jp/LAW/SHIKEN/past.html）

（企画部）

「測量の日」 関連行事を実施
●「測量の日」における功労者感謝状贈呈式を開催

国土地理院は、測量や地図に対する国民の一層の理解と関心を高めることを目的に、「測量の日」が制定された平成元年度から、測量や地図に関する普及・啓発に顕著な功績のあった個人又は団体に感謝状を贈呈しています。

今年度は個人1名及び1団体に対し贈呈しました。

【功労者】 ※敬称略

上西（うえにし） 勝也（かつや）（英国王立地理学会フェロー）

札幌市教育地図研究会（会長 工藤（くどう） 真嗣（まさし））

贈呈理由についてはこちらをご参照ください。

地理院ホームページ ＞2026年 報道発表資料一覧 ＞令和8年度「測量の日」における功労者感謝状贈呈式を行います

（https://www.gsi.go.jp/kohokocho/kohokocho65062.html）



6月23日 北海道地方測量部において
札幌市教育地図研究会様（手前左から工藤会長、高野幹事長）に贈呈

（総務部）

「測量の日」関連行事を実施
●2026「測量の日」特別企画を開催

6月7日、国土地理院「地図と測量の科学館」（茨城県つくば市）において、2026「測量の日」特別企画を開催し、1，700名を超える多くの皆様にご来場いただきました。

国土交通省が主唱する6月3日「測量の日」は、測量の意義及び重要性に対する国民の理解と関心を一層高めるとともに、地理空間情報のさらなる利活用の推進を目的としています。

特別企画は、「測量の日」にあわせて6月の第一日曜日に開催しており、今回は地図と測量の科学館の通常展示に加え、国土地理院が所蔵する古地図の実物展示や、こどもから大人まで幅広い層が楽しめる一日限りの測量体験イベントを実施しました。

令和8年6月に開館30周年を迎える「地図と測量の科学館」30周年記念事業の一環として、所蔵する「新版日本国大絵図　本朝図鑑綱目」など5点の古地図を、6月2日から14日まで特別展示しました。

彩色や装飾が施され、現代の正確な地図とは異なる、当時の世界観が反映された古地図の見事な出来映えに、多くの来場者が見入っていました。



古地図の解説を聞く来場者

「測量用航空機『くにかぜ』機内公開」は毎回こどもたちの人気が高いイベントです。年に数回しかない搭乗機会に、操縦席に座りパイロット気分を味わったり、興味津々に航空カメラを覗いたりする姿が見られました。

「こどもがずっと乗りたがっていて、今回、乗れて良かった」「カメラの説明がとても分かりやすかった」と大好評でした。



くにかぜ機内公開の様子

「距離を測ってみよう」は、測量機器（トータルステーション）を使い、目標（マッピーくん、マップ博士）までの距離と高低差を測るもので、こどもから大人まで多くの方に実体験していただきました。

「前回は混んでいて並べなかった測量体験ができて良かった」「工事現場などで目にすることがあった測量機器での距離測定はとても貴重な経験でした」など喜ばれていました。



測量機器で距離測定にチャレンジ

「地図記号クイズラリー」は、通年で実施している地球ひろばの地図記号10個を探し出し、記号と名前を解答するゲームです。今回「測量の日」バージョンとしてリニューアルしました。

大人気で担当者も大忙し、こどもたちや家族連れが地球ひろばを探し回っていました。「クイズラリーがメチャクチャ楽しかった」「毎回こどもが楽しみにしている」などの声が多く聞こえました。



家族でクイズラリーに挑戦

「日本列島地図一筆描き」は、北海道、本州、四国、九州の4つの島をそれぞれ一筆で描いた地図をコンピュータが採点するもので、毎年多くの方に参加いただく人気のイベントです。

真剣な表情で描いているこどもたちと、応援する友達や家族の姿が印象的で、高得点となった多くの優秀作品がパネルに掲示され、来場者の目に留まっていました。



一筆描きにトライ



展示された優秀作品

「歩測チャレンジ」は、歩幅を使い距離を測る体験です。テストコースで自身の1歩の歩幅を知り、スタートからゴールまで何歩で歩いたかをカウントして、その間の距離を測ります。

家族や友達同士で歩く方、一回で正解して大喜びする方、正解するまで何度もチャレンジする方など、それぞれに楽しみながらチャレンジしていました。



歩測で距離測定にチャレンジ

そのほかにも、3Dメガネで見ると平野の広がりや盆地のくぼみ、山脈の連なりなど国土の起伏が立体的に実感できる「日本列島空中散歩マップ」、地図記号を当てるパネルクイズ、「常設展示」「3D分県パズル」「日本列島球体模型」なども安定して人気があり、来場者アンケートでも好評の声をたくさんいただくなど、多くのご来場者に、「地図」「測量」への興味を新たに深めていただけた一日でした。



賑わう日本列島空中散歩マップ

国土地理院「地図と測量の科学館」では、皆様に楽しんでいただけるイベントを今後も企画していきますので、ご参加を心からお待ちしています。

地図と測量の科学館ホームページ
https://www.gsi.go.jp/MUSEUM/

（総務部）

「測量の日」関連行事を実施
●令和８年度 「測量の日」地図と測量のミニフェスタなどを開催

東北地方測量部では、測量の意義及び重要性に対する国民の理解と関心を高めるための啓発活動として、関係団体などとの共催により、以下の行事を開催しました。

◆地図と測量のミニフェスタ

6月6日にHOKUSHU仙台市科学館（仙台市）において、第38回「測量の日」記念「地図と測量のミニフェスタ」を開催しました。

東北地方測量部からは、東北地方の地形を立体的に見ることのできる陰影段彩図の床展示、仙台市中心部の変遷が分かる新旧地形図や空中写真、電子基準点・地理院地図・自然災害伝承碑などを紹介するパネル展示を行いました。陰影段彩図では、多くの方が自分の住んでいる場所や登ったことのある山などを探しながら、日頃見ることのない上空からの地形を興味深く眺めていました。

また、「地図記号クイズ」を午前に1回、午後に2回行い、各回ともたくさんの親子連れで会場の実験室がいっぱいになるほどの盛況で、子どもたちは問題が出るたびに競うように手を挙げて、元気に答えていました。



東北地方を空中散歩（陰影段彩図）

その他、トータルステーションをのぞいて会場内に掲示されたクイズを探しあてて解答する「測量ゲーム」、CADの機能を使って動物園や水族館の絵を作る「CAD体験」などのさまざまな測量体験コーナーが設けられ、参加者は楽しみながら地図や測量に活用される技術を体感していました。

当日は約590名の参加者があり、親子連れなど多くの方に測量や地図を身近に感じてもらえた一日でした。

◆山形県高等学校サーベイコンテスト

6月3日に山形県総合運動公園（天童市）において、第34回山形県高等学校サーベイコンテストを開催しました。

このコンテストは、山形県内で測量技術を学ぶ高校生を対象に、測量の意義及び重要性を認識していただくとともに、測量技術の習得、向上を目的に平成5年から毎年実施されているものです。

競技は3つの部門で行われ、「平板測量の部」、「トータルステーションの部」では、測定時間や精度、機器の取り扱い、作業態度などを採点する外業と、計算整理にかかる時間や図面の仕上がりなどを採点する内業で競われました。当日はあいにくの雨模様となりましたが、各チームの選手は傘で機器や手簿を覆いながら操作したり、観測結果を普段よりも大きく復唱したりするなど、現場に合わせた臨機応変の工夫をして競技に臨んでいました。

また、令和4年度から実施されているアトラクション競技の「UAV測量の部」では、コース上に設置された標識を時間内に正確に空撮する技術が競われました。選手はUAVを正確かつ迅速に操縦し、日々の練習の成果を遺憾なく発揮していました。

東北地方測量部からは競技の審査に加わったほか、実行委員として星野秀和（ほしのひでかず）部長が出席し、閉会式での講評を行いました。



競技風景（トータルステーションの部）

（東北地方測量部）

「測量の日」関連行事を実施
●広島市の小学校で南極観測に関する出前講座を実施

6月16日、広島市立東野小学校において、5年生約130名を対象とした南極観測に関する出前講座を実施しました。

中国地方測量部では、国土地理院の業務や測量・地図等について、より知っていただくために「出前講座」を行っています。今回は、「総合的な学習の時間」の一環として、南極観測に関する講座を実施しました。

当部職員の南極観測隊員経験者2名が、

・国土地理院の南極観測の役割

・南極観測隊の活動

・南極での暮らし

などについて、クイズや写真パネルを交えながら紹介しました。

今年5月に広島市で「南極条約協議国会議」（ATCM48）が開催されたこともあり、児童の皆さんは事前に南極について学習しており、本講座を通じてさらに理解を深める様子が見られました。

講座中には、「南極ではどのように食事をしているのか」「どれくらい寒いのか」「動物や植物がいるのか」など、多くの質問が寄せられました。 実際に南極で生活した隊員から直接話を聞くことで、教科書や映像だけでは得られない現地の具体的な様子をイメージすることができたようで、児童たちは特に食事の話題に強い関心を示し、終始興味深そうに話に耳を傾けていました。

また、クイズ形式の説明や写真パネルの活用により、楽しみながら理解を深めることができ、「もっと南極について知りたい」「いつか自分も南極に行ってみたい」といった感想も聞かれるなど、これからの学習意欲の向上にもつながったようです。

さらに、講座を通じて、南極の自然環境の厳しさや観測活動の重要性に加え、様々な分野の観測隊員同士が協力しながら任務を遂行する観測隊の姿にも大きな関心が寄せられました。

児童たちは、南極が特定の国の領土ではなく、国際的なルールのもとで平和的かつ科学的に利用されている地域であることについても理解を深め、環境問題など地球規模の視点から物事を考えるきっかけとなった様子でした。

先生からは、「児童の関心を引き出しながら専門的な内容をわかりやすく伝えていただき、大変有意義な授業となった」との声が寄せられました。

中国地方測量部では、今後もこのような出前講座を通じて、国土地理院の業務に関する理解を深めていただくとともに、測量や地図の役割についても広く発信していくことで、次世代を担う子どもたちの知的好奇心を育む取組を継続してまいります。

「出前講座」は、本院及び全国の地方測量部等でも実施していますので、お気軽にお申込みください。

https://www.gsi.go.jp/DEMAE/demae.htm



元気にクイズを答える児童たち



授業後も積極的に質問をする児童たち

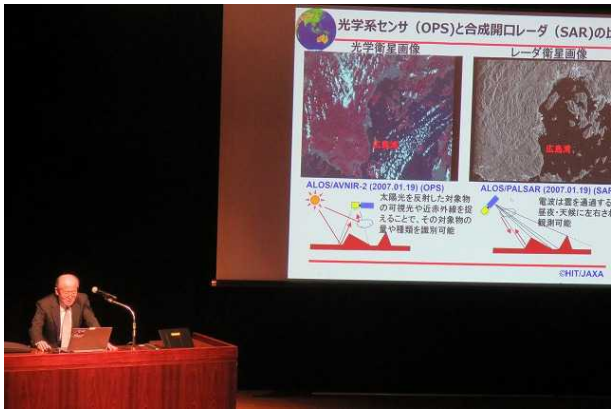
（中国地方測量部）

「測量の日」関連行事を実施
●第 29 回中国地区測量技術講演会を開催

6月22日、広島県民文化センター（広島市中区大手町）において、「測量の日」中国地区連絡協議会（委員長：中国地方測量部長）主催による「第29回中国地区測量技術講演会」を開催し、142名の方に会場参加、延べ116名の方にウェブ参加いただきました。

中国地区測量技術講演会は、地理空間情報の利活用、新しい測量技術や測量に関するプロジェクトなどを産学官から広く紹介し、測量技術の普及・啓発を図ることを目的として平成8年（1996年）から開催しています。

今回の講演会では、最初に特別講演として広島工業大学　名誉教授　菅雄三（すがゆうぞう）氏から「宇宙技術を活用した社会課題への取り組み」と題して、測位衛星・地球観測衛星等による空間情報技術を活用した中国地方における社会課題解決支援のための社会実装プラットフォーム開発の現状と動向について解説していただきました。



広島工業大学 菅氏 の特別講演

続いて、内閣府宇宙開発戦略推進事務局準天頂衛星システム戦略室企画官　佐藤雄大（さとうゆうだい）氏から、わが国の測位衛星「みちびき」の今後の発展の方向性と最近の利活用事例について紹介していただきました。

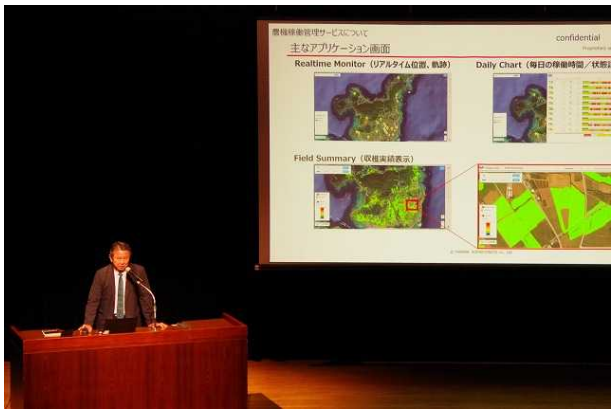


内閣府　宇宙開発戦略推進事務局 佐藤氏 の講演

続いて、宇宙航空研究開発機構・理事　筑波宇宙センター所長　瀧口太（たきぐちふとし）氏から、国土地理院とJAXAの人工衛星を利用した測位や測地における連携活動について紹介していただきました。


宇宙航空研究開発機構（JAXA） 瀧口氏　の講演

最後に、ヤンマーアグリ（株）先行開発部技監・部長/京都大学農学研究科産学共同講座特定教授　日髙茂貴（ひだかしげみ）氏から、正確な位置情報を起点とした、スマート農機のテクノロジー紹介と、農作業の見える化、そこからのマネジメント、そして双方の融合について論じていただきました。



ヤンマーアグリ（株） 日髙氏　の講演

今回の講演動画は、YouTubeチャンネル「測量の日」中国地区連絡協議会にて9月末まで公開予定です。

https://www.youtube.com/channel/UCKVOYMQINXIKWlkCeOtP0wQ

中国地方測量部では、今後も地理空間情報の活用推進、測量新技術の普及・啓発のために様々な取組を継続してまいります。

（中国地方測量部）

「測量の日」関連行事を実施
●沖縄地方でパネル展の開催と出前講座の実施

沖縄支所では「測量の日」沖縄県実行委員会主催のもと、「測量の日」関連行事の一環として、沖縄県立図書館において「測量の日」パネル展を開催するとともに、那覇市立与儀小学校では出前講座を実施しました。

◆「測量の日」パネル展

6月3日から15日まで、沖縄県立図書館において「測量の日」パネル展を開催しました。

パネル展では、測量や地図を広く一般の方に知っていただけるよう、「国土の位置をはかる」「災害のリスクを知る」をテーマとして、電子基準点や自然災害伝承碑など関連するパネルを展示しました。なお、図書館の前を通行する方にもご覧いただけるよう、沖縄の地形図や空中写真も展示しました。また、「測量の日」沖縄県実行委員会の構成団体の事業概要や本年4月に開所した「沖縄県測量専門養成所」に関するパネルもあわせて展示しました。

展示期間中は、家族連れをはじめ多くの来館者が足を止め、パネルや地図、空中写真を興味深く見学している様子でした。



「測量の日」パネル展の様子

◆出前講座

6月25日、那覇市立与儀小学校の6年生の児童を対象に出前講座（講座、測量体験学習）を実施しました。

講座では、測量や地図に興味や関心を持ってもらえるよう、国土地理院の役割や防災の視点を交えながら授業を実施しました。また、児童がタブレット端末を使って地理院地図を操作し、地形図と空中写真を見比べながら地域の地形などを学びました。

測量体験学習では、実際の測量を学ぶ機会として、児童自ら測量機器を用いて、距離や高さ、面積の測定をする体験を実施しました。

出前講座に参加した児童は、地図記号や地理院地図のさまざまな機能に興味を示していました。また、測量体験学習では、講師の指導を受けながら熱心に機器をのぞき込み、測量への理解を深めていました。



タブレット端末を使用した地理院地図の操作



測量機器を用いた測量体験学習

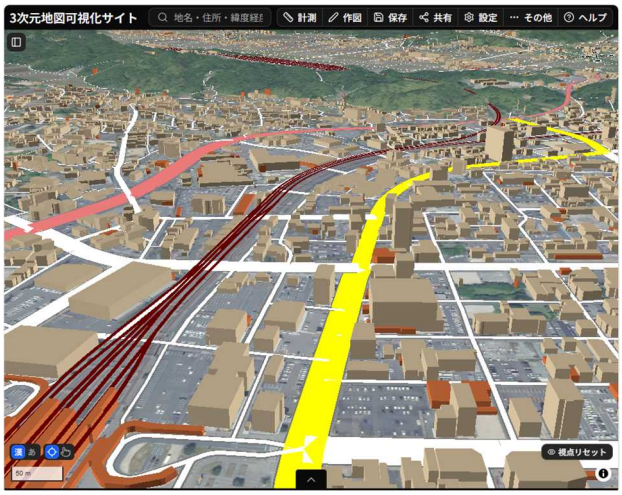
沖縄支所では、今後も関連団体等との連携を図りながら、測量・地図の普及啓発活動に積極的に取り組んでまいります。

（沖縄支所）

「3次元地図可視化サイト」を試験公開～国土の姿をより分かりやすく～

「3次元地図可視化サイト」の試験公開を、6月1日から開始しました。「3次元電子国土基本図」の「建物」、「道路（道路中心線）」、「鉄道（軌道の中心線）」を立体的な表現にすることや他の地図・空中写真等と重ね合わせて見ることが可能です。

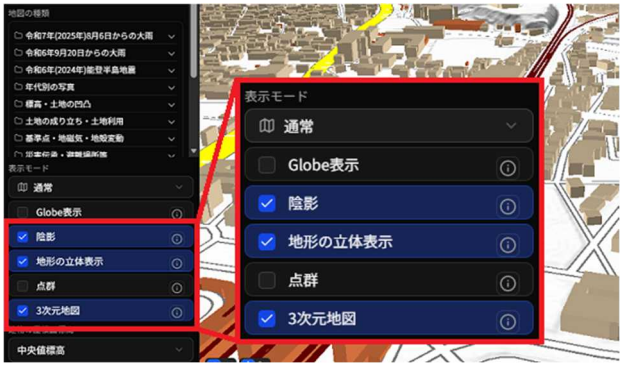
「3次元地図可視化サイト」は、「3次元電子国土基本図」をウェブブラウザ上での描画に適した形式に変換し、簡易にご覧いただけるサイトです。



「3次元地図可視化サイト」の表示イメージ

■立体表示の設定

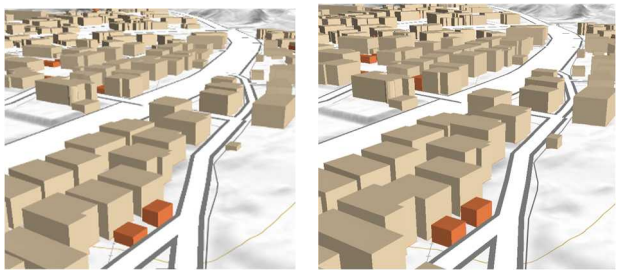
「建物」、「道路（道路中心線）」、「鉄道（軌道の中心線）」を立体的に表示するには、サイドバーの「表示モード」で「3次元地図」のチェックボックスをオンにします。また、「地形の立体表示」をオンにすると地形の高低差を立体的に表示でき、さらに「陰影」もオンにすると、より臨場感のある表現となります。



立体表示の設定例

■「建物」の高さ情報

「3次元電子国土基本図」の建物データには、属性として6種類の高さ（標高）が付与されています。「3次元地図可視化サイト」では、このうち「最大標高」、「75%標高」、「中央値標高」、「25%標高」の4つから任意の値を選択することができます。初期値には「中央値標高」が設定されていますが、「3次元地図」を有効にするとサイドバーにある「建物の屋根面標高」から変更が可能です。


「建物」の高さ情報を変更（左）25%標高、（右）最大標高

■標高タイルの選択

サイドバーの「標高タイル」から、地形の立体表示に使用する標高タイルを選択できます。なお、コンテキストメニュー（画面下部の矢印をクリックすることで開きます）に表示される標高値は、指定した地点において存在する最も詳細な標高タイルの値となります。

試験公開の範囲は、「3次元電子国土基本図」の提供範囲のうち、2次メッシュ「523570」「523571」の2面分（京都府福知山市周辺）です。この試験公開によって、今後の安定的な閲覧環境の提供に向けて必要な技術的・施策的課題を把握していきます。

▼3次元地図可視化サイト
https://gsi-cyberjapan.github.io/gsi-3d-2025/

▼3次元電子国土基本図の案内サイト
https://www.gsi.go.jp/kibanjoho/mapinfo3D.html

（地理空間情報部）

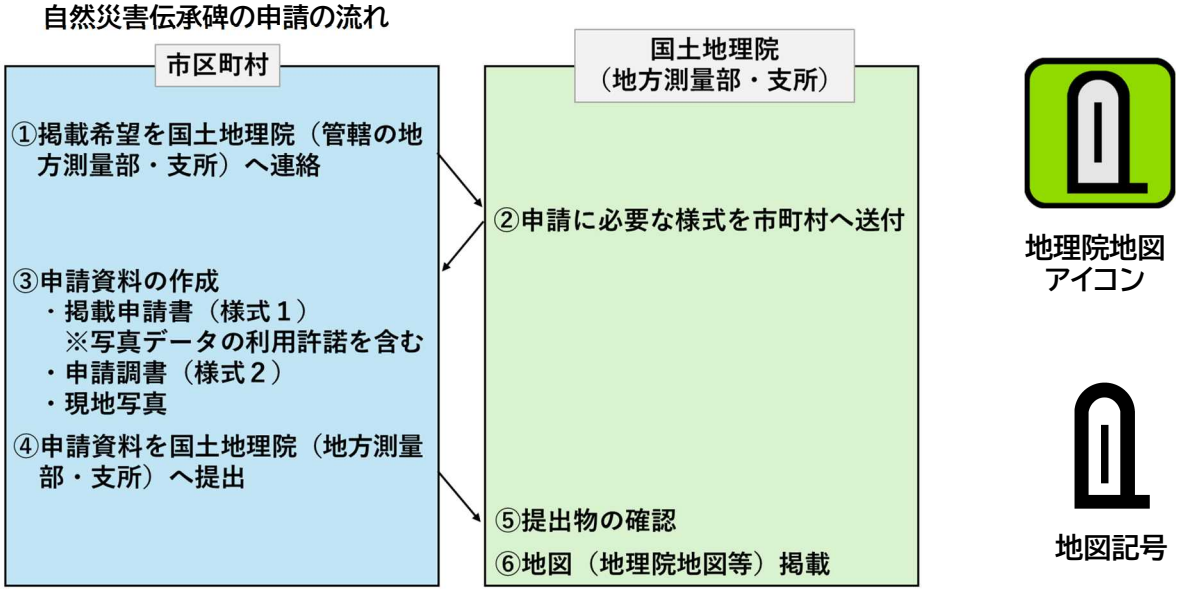
○「自然災害伝承碑」 ウェブ地図「地理院地図」での公開数

令和8年7月27日現在

47 都道府県	683 市区町村	2453 基

詳細については、自然災害伝承碑のページ(https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi)をご覧ください。
[市区町村の担当者の皆様へ]自然災害伝承碑に関する当院への情報提供にご協力をお願いいたします。

自然災害伝承碑の申請の流れ



様式や手続きの詳細は以下のページをご覧ください。
https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_info.html

○6月の報道発表

発表日	件名	担当部署
1日	「3次元地図可視化サイト」を試験公開ー国土の姿をより分かりやすくー	地理空間情報部
2日	指名停止措置について	総務部
5日	令和8年度「測量の日」における功労者感謝状贈呈式を行います	総務部 北海道地方測量部
5日	「測量の日」記念講演会を開催します	九州地方測量部
8日	令和8年5月の地殻変動	測地観測センター
12日	広島市の小学校で南極についての出前講座を実施	中国地方測量部
15日	地理空間情報の未来へ挑戦！～生徒・学生部門を新設した「Geo アクティビティコンテスト」の募集開始！～	防災・地理空間情報企画センター
25日	測量士補試験の合格者を発表	企画部
30日	企画展「昭和100年 国土地理院の測量と地図」を開催	総務部

報道の内容は、国土地理院ホームページ>2026年 報道発表資料一覧
(https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/press-2026.html)をご覧ください。

○8月の主な行事予定

月日	行事
7/14～9/23	地図と測量の科学館　企画展「昭和100年」
8/28	第252回地震予知連絡会

国土地理院広報は、
国土地理院ホームページ＞広報誌＞国土地理院広報
(https://www.gsi.go.jp/WNEW/koohou/)に掲載しています。

発行 **国土交通省国土地理院**
Geospatial Information Authority of Japan
〒305-0811 茨城県つくば市北郷１番
TEL 029-864-6255
FAX 029-864-6441
連絡先：総務部広報広聴室
国土地理院ホームページ
https://www.gsi.go.jp/